

南山大学図書館報

## ΔΥΝΑΜΙΣ

No.30

1996.10.1

## やはり古典がいい

土田 友章

世阿弥の『風姿花伝』では、演劇（能）の現成すべき<花>の構成素として、おもしろ・めづらし・妙・幽玄を挙げている。それぞれについて語ることは控えるが、いずれも人間の生を新たな光の下に見なおし、受けとめなおす力を指していよう。よい作品は、たしかにこうした質を持っていて、人生の崇高・偉大、卑小・愚闇をわれわれに呈示し、歓喜と憂愁、憧憬と苦悩を共有させて、「衆人愛敬」を現出する。われわれは知らず知らずに参加者・共働者となっていたりして、すべてを体験できない個人の限られた人生であっても、その内面の地平が広がるのだ。

このことはなにも古い著作に限られないが、さまざまな時代・社会・文化を生き抜いてきた「古典的」な著作がやはり抜群の実力をもっていると言えよう。よく彫琢された、深い人間理解と出会うと、人間性の多面的可能性と危機、ならびにさまざまな価値を了解できて、自己の人生をよりよいかたちで選び背負ってゆくうえでの参考ともなり、なによりもそんな著作の中に（著者の分身でもある）善き友を見いだすこともある。

古典的作品はそのほとんどが、農耕牧畜を生業の基本とし、家族・氏族を社会的な単位共同体とし、自然と多かれ少なかれ協調しながら、人間が生きていた時代に生み出された。したがって、都市の技術・管理システムに取り込まれて生活し、自然から隔離され、家族も断片化されるような現代のわれわ

れ的生活意識や世界観には、古典的著作の関わる世界はあまりにも遠い、とも見える。それに、古典的作品を、その長寿のゆえに、つい最近まで生き延びてきたというだけで尊重するのもおかしいとも言える。

じっさい、古典のもつ意味はやや変わってきただろう。

変な言い方だが、現代人も人間であって、その生き方が全面的に狂っているわけではないし、一方、古典人が全面的に人間的であるのでもない。しかし、ある距離を置いて見ることのできる古典は、そのゆえにわれわれ自身を映し出す鏡にもなってくれる。現代人である自分に常識となっている思い・感じを、古典が提示している異なる人間観をも含んだ広やかな地平に置いて眺めてみよう。われわれを強く拘束している行為・思考のありかたが揺さぶられ、我々はもう少し自由な空間・時間に出られるだろう。人間なる問題をその多面・多層において開示してくれるので、つい単純な見方に還元してしまいがちなわれわれでも、もう一度豊饒な地平に立てるのである。

古典とわたしが解釈しあい、従来の視界が突破される経験。ソフォクレスとともに憂え、シェイクスピアやモリエールとともに笑い泣き、一葉の女性たちに出会って感嘆すること、これは他に代えがたい楽しみではないだろうか。

(Tomoaki Tsuchida: 外国学部助教授 土田 友章)

'96 図書館 秋の企画展

# 和訳聖書展

— 南山大学図書館「カトリック文庫」所蔵資料より —

開催期間

1996年10月28日(月)～11月8日(金)

開催場所

南山大学図書館1階 会議室

普段何気なく手にする聖書は最初から日本語で書かれていたわけ  
ではありません。

江戸末期から始まる先人たちの聖書和訳の歴史が脈々と受け継が  
れて来ています。

図書館ではそのような聖書和訳の歴史に焦点をあて、南山大学  
図書館「カトリック文庫」が所蔵する貴重な明治期の和訳聖書  
のうち、約30点を展示・紹介します。

また今回は神言修道会多治見修道院の御協力により、修道院  
収蔵のミサの際に使われる貴重な品々も併せて展示・紹介しま  
す。

秋の1日、キリスト教伝道の歴史に触れて見ませんか...

## 南山大学図書館「カトリック文庫」とは...

主として近代日本におけるキリスト教文化のありようを精緻に極めるに足る資料を広く収集し、積極的にその研究に資することを目的とする。1990年創設。その資料の多くは全国の教会関係機関や個人からの寄贈資料により成り立っている。

### 展示内容

ヘボン訳 『新約聖書約翰傳』 (しんやくせいしょよはねでん)  
 ブラウン訳 『志んやく[せい]志よ だい五のまき』  
 翻訳委員社中訳 『新約聖書哥林多前書』 (しんやくせいしょこりんとぜんしょ)  
 東京聖書翻訳委員会訳 『舊約聖書出埃及記』

(きゅうやくせいしょしゅつえじぶとき)

など南山大学図書館が所蔵する和訳聖書約30点

『聖經理證 横濱版』 (せいきょうりしょう よこはまばん)

『倫敦聖書教會傳道關係本 精寫本』

(ろんどんせいしょきょうかいでんどうかんけいほん せいしやほん)

など和訳聖書以外に収集した貴重な資料とパネルによるカトリック文庫のこれまでの歩みと活動の紹介

さらに

神言修道会 多治見修道院 収蔵の

ミサ祭服・ストラ(典礼時に祭服と共に着用する頸垂帯)・カリス(聖杯)などの資料も併せて展示



乞う御期待!

センター紹介 第6弾!!

# 視聴覚ライブラリー



2階棟 L

## 視聴覚ライブラリーって何があるの？

学習用のオーディオテープ・ビデオテープ  
スライド・地図・OHP用トラペ・CDなど  
文字通り視聴するものがそろっています。



## どれだけあるの？

ビデオテープが3,600点、オーディオテープが  
2,400点、その他全部でおよそ7,000点の資料  
がそろっています。

## 分野別にはどんなものがあるの？

語学関係のものがおよそ3,300点で一番多いのですが、この中には英語以外の  
中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語などの語学の勉強に役立つものも  
たくさんあります。

その他では芸術（映画）・美術や社会科学、自然科学など語学以外のものもあ  
りますので、利用してください。



\*JTBの海外  
美術館紀行  
\*JTBの海外  
旅行シリーズ

\*映画では\*  
今を生きる  
シンデレラ  
つる（鶴）



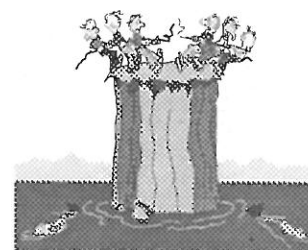
\*生命(NHK)  
\*地球大紀行  
\*現代の経済学



図書館と違って全て閉架式になっているので、実物を手にとって選ぶことはできませんが、資料の検索などについて質問等ありましたら気軽にそして積極的に係の人に声をかけて聞いてください。  
 ライブラリーで気楽に楽しんでいってください。

### いつ利用できるの？

授業・試験日の月・火・木・金： 午前9時～午後8時  
 その他の平日・土： 午前9時～午後4時30分  
 ＊いずれも午前11時30分～午後12時30分は閉館です。



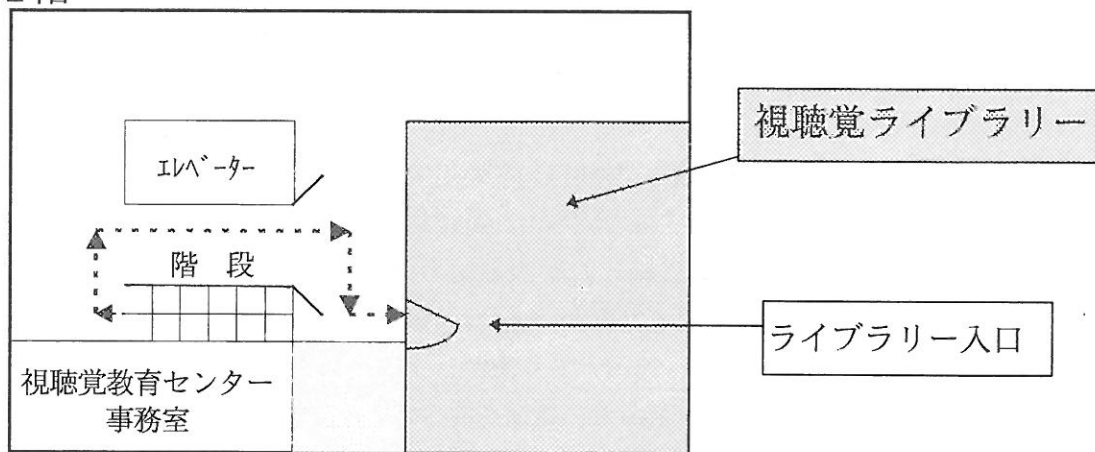
### どうやったら借りられるの？



GEMMA-II、冊子目録等で検索し、請求番号を資料請求票に記入し、「学生証」（留学生別科の学生は図書館発行の「USER CARD」）と共にカウンターへ提出してください。  
 ＊利用は館内のみです。

### ところでライブラリーはどこにあるの？

<L棟2階>



CNN(アメリカ)、ABC(アメリカ)、BBC(イギリス)、TVE(スペイン)、ZDF(ドイツ)、F2(フランス)のニュースも毎日衛星放送から録画していますので、世界の最新情報に触れることができます。また、ライブラリー発行の「利用案内」では毎月「お薦めの資料紹介」をしていますので参考にしてください。（視聴覚ライブラリーカウンターと図書館入口に置いてあります。）

## 《資料紹介》



自分の読みたい雑誌が  
南山大学図書館にない場合、  
あなたならどうしますか？

## 学術雑誌総合目録

自分の読みたい雑誌が南山大学図書館にあるかどうかを調べる時には、皆さんもご存じのようにGEMMA-IIで検索します(GEMMA-II検索画面で雑誌名を入力して調べてください)。その雑誌が検索できたら、今度は読みたい巻号があるかどうかを結果一覧の画面で確認します。さて、そこからが問題です。自分の読みたい雑誌がまったく検索できない時や、雑誌はあったけれども読みたい巻号が見つからない場合に、あなたならどうしますか？

そんな時、「学術雑誌総合目録(通称:学総目)」を利用することをお勧めします。この「学総目」はまさに、どこの大学図書館が自分の読みたい雑誌を持っているかを調べるための資料なのです。ただし、この目録は所蔵目録ですので、雑誌の何巻何号を所蔵しているかどうかは分かるだけです。特定の論文だけを読みたい場合は、前回紹介した「雑誌記事索引」などで何号に掲載されているか調べておく必要があります。

「学総目」を利用して調べた結果、読みたい雑誌を持っている図書館が、近くの大学や自分が訪れる予定のある大学であることがわかったら、レタリスカウンターまでおこしてください。紹介状を発行いたします(紹介状がなければ他大学図書館の閲覧はできません)。また遠くの大学しか所蔵がなく、それでもなんとかして論文が読みたい場合、あるいは、近くの大学でも行くことができない場合も、レタリスカウンターまでご相談において下さい(「学総目」の見方がわからない場合も遠慮なくどうぞ)。南山大学図書館を通じて、所蔵している図書館にその雑誌の必要部分のコピーを郵送してもらうことができます(ただし、コピー代・郵送料・支払手数料は利用者負担になります)。

和文編 「学術雑誌総合目録 和文編 1991年版」 R/027/244/1991/v.1~7 開架 I F 参考図書

参加機関 総計702機関 (1989年11月現在)

・大学(国立95, 公立35, 私立352)の図書館.....482

・各省庁所轄研究機関、地方公共団体、公社・法人・学協会等.....220

収録対象誌 68, 192件 所蔵データ件数 1, 408, 804件

欧文編 「学術雑誌総合目録 欧文編 1994年版」 R/027/244-1/1994/v.1~8 開架 I F 参考図書

参加機関 総計664機関 (1992年11月現在)

・大学(国立95, 公立39, 私立357)、短大(2)、高専(2)の図書館

.....495

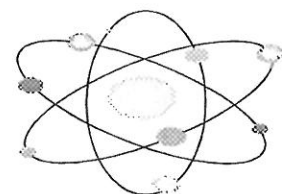
・各省庁所轄研究機関、地方公共団体、公社・法人・学協会等.....169

収録対象誌 115, 340件 所蔵データ件数 1, 052, 065件

「学術雑誌総合目録」は国内の学術研究機関の図書館等が所蔵する学術雑誌を網羅的に収録し、各々の学術雑誌について、その所蔵機関と所蔵巻号を記録したものです。和文編と欧文編との2種類があり、和文編は日本語で書かれた雑誌、欧文編は欧文で書かれた雑誌が対象になっています。また、和文編はあ～んの50音順、欧文編はA～Zのアルファベット順で数冊の冊子体から成り立っています。

現在では、和文編、欧文編それぞれ6年毎に刊行(データは刊行される約1年前のもの)されていますので、最新のものを利用するようにしてください。ただし冊子体という性質上、日々のデータ更新はできませんので、「学総目」が刊行された後に発刊された雑誌などは調べることができません。では、自分の読みたい雑誌が刊行されたばかりで冊子体には載っていない場合はどうしたらよいのでしょうか。その時、役にたつのがデータベースです。1991年以降、学術情報センターのオンライン目録システムを運用している図書館については随時のデータ更新ができるようになったため、データベースで調べることができます。最新のデータを確認したい方は、ウェブブラウザまでおいで下さい。図書館員が検索します。

また、「学総目」に参加していない代表的な図書館に、国立国会図書館があります。「学総目」で探しても見つからない場合などは、「国立国会図書館所蔵国内逐次刊行物目録(R/027/128)」、「国立国会図書館所蔵外国逐次刊行物目録(R/027/113)」を調べてみてください。一般雑誌などは、かなりの確率で見つけることができます。



◆使い方◆

まず、最初に注意することは、論文の題名で調べるのではなく雑誌の**タイトルで調べる**ということです。これを誤ると調べられませんから気をつけましょう。それでは、ここで『鼻行類研究所月報』という雑誌の11巻12号に掲載されている論文をどこの大学が所蔵しているか実際に調べてみましょう。

『学術雑誌総合目録』の和文編は五十音順になっていますので、“ひ”のついているVol. VIをとりだし『鼻行類研究所月報』を引きます。そうすると右図のように所蔵機関窓口の略称が表示されています。その後続く数字に“11”という数字のついている機関は11巻を所蔵しているということです。例えば京大霊、九大はこれに当てはまりますが、北大は12-21なので残念ながら所蔵していません。

< AN00XXXXXX > <b>鼻行類研究所月報/鼻行類研究所</b> 10巻1号(昭52.1)- [出版地不明]:鼻行類研究所, 1977.1- ISSN:AAAA-AAAA FID:00WXXXX 継続前誌:鼻行類会月報/鼻行類会 (AN00ZZZZ) 異誌名:鼻行類研究 北大 12(1979)-21(1986) 東大医研[10(1977)], 13, [15(1981)] 日大農[16(1982)], 22(1988) 武工大[18(1984)] 静大 [21(1987)] 愛教大 16(1982)+ 名工大 22(1988)-23(1989) 京大霊 10(1960)-22(1988)+ 九大 [11(1978)] 佐大 15(1981)+ (※データは架空のものです)
--

ただ、九大に関しては、[11]ととなっておりますので所蔵しているようですが、実は [ ] マークが曲者です。[ ] マークは、欠号を示します。つまり、この雑誌は1巻が12号分ですから、11巻の全12号の中で何号かの欠号があるということになります。せっかく11巻はあっても、ちょうど自分の読みたい論文が掲載されている号が抜けている可能性もありますので、九大は所蔵しているとは言い切れません。そうすると、11巻を確実に所蔵している所は京大霊のみということになります。また、京大霊の所蔵データの後には“+”がついています。これは継続してこの雑誌を受け入れる予定という表示です。ですから、京大霊では12巻以降も継続して受け入れる予定であることが分かります。

ところで、お気づきでしたでしょうか。この雑誌で1-9号を所蔵しているところは記入されておりません。それは、どうしてでしょうか。たまたま1-9号を所蔵しているところなかったのでしょうか?……タイトル「鼻行類研究所月報」の次の行に10巻1号(昭和52.1)とあります。これは昭和52年1月に10巻1号が発行され現在に至っているということであらわしています。10巻1号より前の号に関しては、継続前誌というところを見てください。「鼻行類会月報」という違ったタイトルで発行されていたことがわかります。つ



まり、10巻1号より前の号に関してはこの「鼻行類会月報」というタイトルで調べる必要があります。だから、「鼻行類研究所月報」では1-9号を所蔵しているところは掲載されていなかったのです。

また、「京大霊」と機関名が省略して書いてありますが、巻末のサービス窓口略称索引を見て窓口番号を調べ、その窓口番号から所蔵機関・サービス窓口名称および所在地一覧のところを見れば正式名称がわかります。(ex. 京大霊→京都大学霊長類研究所図書室)

自分の読みたい雑誌は、「学術雑誌総合目録」に載っていましたか?載っていなかった場合でも、あきらめずにリファレンスカウンターにご相談ください。「学総目」に参加していない機関で所蔵しているところはないかお調べします。

それではこれで学術雑誌総合目録の使い方についての紹介は終わりにしたいと思います。もしわからないことがありましたら、お気軽にリファレンスカウンターまでおいでください。皆さんの勉強・研究のお役にたてるようスタッフ一同、努めてまいります。



(Yukiko Nan'ya: 閲覧・参考係 南谷 夕貴子)

## 秋期図書館利用講習会のお知らせ

図書館利用講習会を春に続き今秋も開催します。

<初級編> ライブラリーツアー方式で館内の資料の探し方や利用の仕方を案内

<中級編> 主に卒論やレポートの作成の際の資料収集の仕方

所要時間 : 60分程度

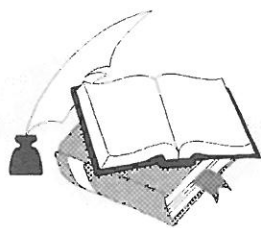
開催日 : ライブラリーカレンダー、館内掲示をご覧ください。

どの日程も都合がつかない場合は相談に応じますので気軽に声をかけてください。

春の講習会を受講しようとして、機会を逃した方。

来年に卒業論文を控えている方。

是非、この機会に利用下さい!!!



## ペーパーバックへの誘い

ペーパーバック *paperback*……紙表紙を用いた軽装本。ハードカバーブックに対してソフトカバーブックとも言います。それは大衆読者層をつくりだすためにできるだけ安く生産され、大量にディスプレイしやすく読みやすいようにデザインされた本なのです。中身はハードカバーブックに劣らず重いのに、大きさはポケットに入っちゃう程小さくて軽い。こんなにお手軽な姿をしながら、不幸にも書庫内でじっとしている洋書の文庫、ペーパーバックたちを、その歴史を交えながら一部紹介していきましょう。

### ペーパーバックの始まり

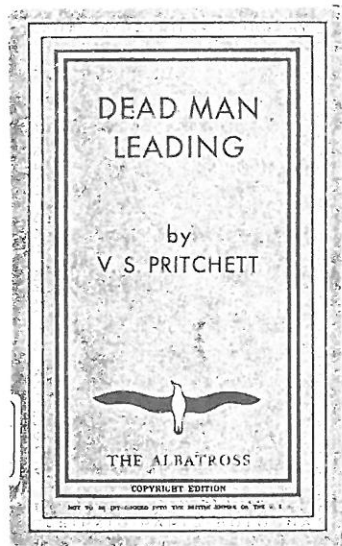
#### Tauchnitz edition

#### Albatross Modern Continental Library

ペーパーバックの始まりは19世紀のアメリカやドイツであると言われています。アメリカでは1840年頃、新聞の付録としてペーパーバック形式の廉価本が誕生しました。

一方、ドイツでは1837年にタウヒニッツ社から“**Tauchnitz edition** タウヒニッツ版”が刊行。これはディケンズ、サッカレー等、当時の著名な作家の著作を英文で収めたシリーズです。このはじめのペーパーバックの見てくれはあまりいいものではありません。ページは裁断されておらず、読む時に自分で切らなければならなかったのでふちはギザギザでした。

1930年までに約5,000点が出版されましたが、活字デザイン等の点で時代遅れとなり衰退していきます。(当館所蔵：1冊【B932/345】)



代わって1932年に登場したのがアルバトロス社の“Albatross Modern Continental Library アルバトロス・モダン・コンティネンタル・ライブラリー”。このアルバトロスシリーズも英米の作品を廉価なペーパーバックで出版したものでした。しかし、大きく違う点は形態です。大きさは現代の新書版サイズで、カバーのデザインを統一。アルバトロス(あほう鳥)をロゴマークにします。そしてジャンル別に色分けするという現代のペーパーバックの原型を創り上げたのです。(当館所蔵：2冊【B933/754】【B933/968】)

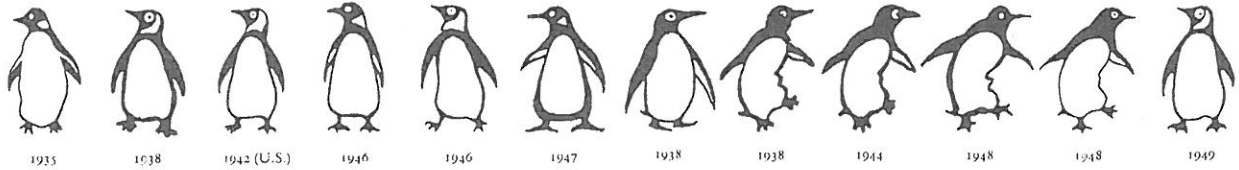
### ペーパーバック普及の立役者

#### Penguin Books

‘安くて軽くて幅広い内容を持っていて、本屋さん以外でも売っている書物’という現代のペーパーバックの形を確立させ普及させたのは、1935年イギリスで発行された“**Penguin Books** ペンギンブックス”だと言われています。形はアルバトロスの特徴をそのまま受け継ぎ、サイズやカバーのデザインを統一したり、ロゴマーク(ペンギン)を付け、ジャンル別に色分けする点は同じでした。しかし活字や紙質は安いものを用い、また販売網を拓けることによってアルバトロスより更に安くなり、定価は僅か6ペンスでした。これにより「ペンギン」がペーパーバックの代名詞になるほど人々の間に普及し、定着していったのです。

内容は小説等のフィクション中心。一般教養向けのノンフィクションは姉妹シリーズ‘Pelican Books’<sup>ペリカンブックス</sup>に収められています(岩波新書のモデルにもなりました)。その他にも海外文学作品の英訳シリーズ‘Penguin Classics’<sup>ペンギンクラシックス</sup>、政治や現代問題をテーマにした‘Penguin Specials’<sup>ペンギンスペシャルズ</sup>等、数多くの姉妹シリーズを持っています。(当館所蔵：約380冊 うちペリカンブックスは180冊)

ロゴマーク<ペンギン>の変遷

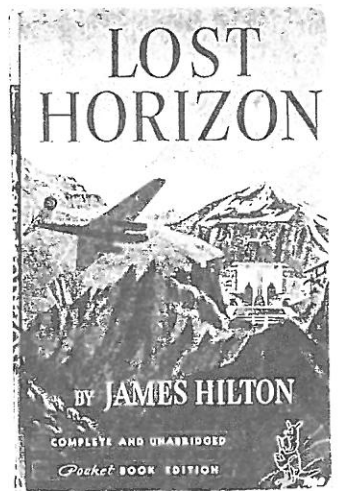


アメリカにペーパーバック革命を起こした

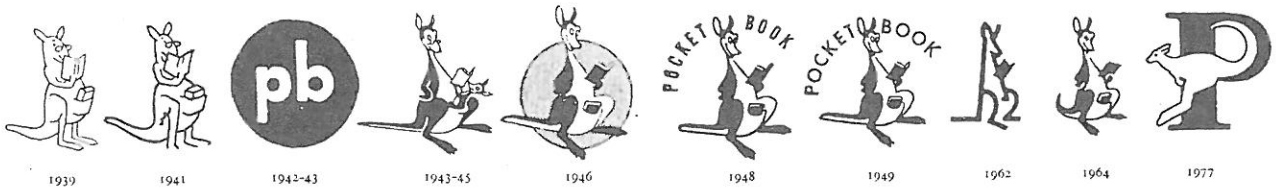
*Pocket Books*

イギリスのペンギンブックスの成功から4年後、アメリカで“Pocket Books ポケットブックス”が誕生します。ペンギンブックスのアメリカ版とも言うべきポケットブックスですが、国民性の違いでしょうか、ペンギンブックスが概してシンプルな装幀だったのに対し、このポケットブックスでは様々なアーティストがカバー上を賑わすことになります。

この後アメリカでは、ポケットブックスに触発されて多くのペーパーバックシリーズが誕生します。ベストセラーを中心に集め、スタインベックやヘミングウェイのレーベルとして信頼が高く、現在ポケットブックスを上回る売上げの‘Bantam Books’<sup>バンタムブックス</sup>。質の高い文学作品等、フィクションを集めたNAL出版の‘Signet’<sup>シグネット</sup>、同じくNAL出版でノンフィクション中心の‘Mentor’<sup>メンター</sup>等々です。(ポケットブックス当館所蔵：約50冊 発行第1号はジェームス・ヒルトンの『失われた地平線』【B933/464】)



ロゴマーク<ガートルード>の変遷



新聞の印刷機械、輪転機から生まれたTaschenbuch

**rororo**

イギリスにおけるペンギンブックスのようにドイツにおいてペーパーバック出版ラッシュの口火を切ったのはrororoシリーズです。この一風変わった名前はRowohlts Rotations Romane(ローヴォルト輪転機小説)の頭文字。戦後まもない1950年にローヴォルト社が新聞用紙と輪転機を使って小説の廉価本を作りだしたのが始まりでした。rororoは出版と同時に爆発的に売れ、この成功によって他の出版社もペーパーバック発行に踏み切ることになり、Fischer<sup>フィッシャー</sup>や Suhrkamp<sup>スーアカンブ</sup>、dtv<sup>デーテフエ</sup>(Der Deutsche Taschenbuch Verlag)等、数多くの出版社からペーパーバックシリーズが誕生します。これらのペーパーバックは駅の構内を中心に販売され、内容は外国の大衆文学から次第に純文学、古典作品等へ範囲を広げて行き、1967年には百科辞典等のコストのかかるものまでペーパーバックへ収録されるようになります。現在のrororoも、小説に留まらず、百科辞典や文学・科学の古典叢書、伝記シリーズ等、幅広い内容を持ちます。特に伝記シリーズは日本語訳もあり

(『ロロロ伝記叢書』理想社)、写真等も多く収録されて使い易くなっています。  
(当館所蔵：約90冊 日本語訳『ロロロ伝記叢書』は34冊所蔵)

岩波文庫のお手本

Reclams Universal-Bibliothek

正式名称は“Universal-Bibliothek”。百科文庫あるいは世界文庫と訳されますが、通常、出版社の名をとって「レクラム文庫」と呼ばれています。ドイツのレクラム社が1867年に刊行を始めたこのシリーズは、日本のあの岩波文庫が範としたシリーズなのです。外見を見ればそれは一目瞭然。大きさはほぼ同じ文庫サイズ(14.7×9.4cm)で、当初は色も同じくラクダ色。岩波の創刊当時は、背表紙に印された星の数によって価格がわかるというシステムも同じでした。中身の方は百科文庫という名前の通りジャンルの広いものです。ドイツをはじめとする世界各国の人文科学、社会科学、自然科学など多岐にわたります。広く一般国民を読者対象としたレクラムはギリシア古典哲学のドイツ語訳から大衆文学に至るまでカバーしていますが、その



創刊当時の装幀

中身の厳選と校訂の精密さには定評があります。1867年の創刊以来今日に至るまで、実に15,000点以上を発行しており、1912年にはおもしろいことにレクラム文庫の自動販売機(?)までが登場しました(最盛期には2,000台近く設置されたようですが、残念ながら1940年に撤去され今はありません)。

このレクラム文庫、日本でもかなり広く読まれています。日本で最も早く最も有名な読者となったのは恐らく森鷗外でしょう。彼の名訳「即興詩人」の底本がレクラム本であったそうですし、また彼は「客人が来るとレクラム文庫の中から料理の本を取り出し、家人に読んで聞かせて料理を作らせ、それを「レクラム料理」と称して客をもてなした」というエピソードも残っています。

(当館所蔵：約1,050冊 【084/249/v.--】 第1巻はゲーテの『ファウスト』)

ここでは米・英・独のほんの一部のペーパーバックしか紹介できませんでしたが、実際にはもっと様々な言語の、様々なタイプのペーパーバックが存在します。秋の夜長のお供に、まずは一冊、手に取って挑戦してみましょう!!

参考文献

ピート・スフリーデルス著 渡辺洋一訳「ペーパーバック大全」(晶文社 1992年)、枝川公一著「ペーパーバック入門」(講談社 1986年)、金平聖之助著「世界のペーパーバック」(出版同人 1973年)、戸叶勝也著「ドイツ出版の社会史」(三修社 1992年)、戸叶勝也著「レクラム百科文庫」(朝文社 1995年)、山口知三ほか著「ナチス通りの出版社」(人文書院 1989年)、Reinhard Wittmann "Geschichte des deutschen Buchhandels" (C. H. Beck c1991) 他

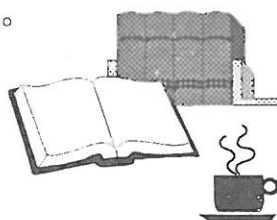
(Kumi Hasegawa: 整理係 長谷川 久美)

〈編集後記〉

今年の図書館秋の企画展は「聖書展」。  
南山大学ならではの展示を行います  
ので楽しみに。

(タイトルデザイン: 加藤富美)

Bible



南山大学図書館報 デュナミス No.30  
1996.10.1 発行

南山大学図書館 広報委員会  
編集委員：野村, 大野, 太田, 佐藤  
〒466 名古屋市昭和区山里町 18  
Tel. 052 (832) 3707  
Fax (G3) 052 (833) 6986